

pMDI: 各部位の名称

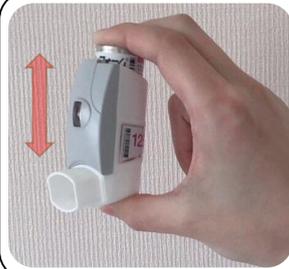


初回準備



1. キャップを外します

※写真はフルティフォーム



2. 吸入器をよく振った後、〇〇回(製品によって指定された回数)空噴霧します。

商品名	空噴霧回数
フルティフォーム	4回
オルベスコ	3回
メプチン	2回
サルタノール	必要なし
アドエア	4回
キューバール	2回
アトルベント	2回
フルタイド	必要なし

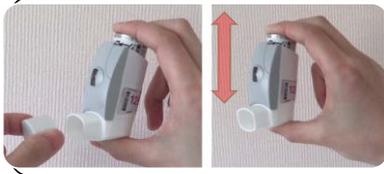


<ポンペの押し方確認>

・吸入器の底に親指をあてて、人差し指と中指でポンペを支えます。

※アルミ缶を押す力が弱い、押せない場合には補助具の用意がありますので、装着します。(一部製品除く)

pMDI (薬品名: オルベスコ、アドエア、フルタイド、フルティフォーム、メブチン、アトロベント、サルタノール、インタール、ペロテック、キュパール)



1. 薬の準備

- 残量を確認し、キャップを外します。
- 吸入器を5回上下に振ります。

※写真はフルティフォーム

• 薬剤と噴霧剤を均一に混合するため、十分に振盪することが必要です。

• 吸入前に振る必要が無い製剤も、混乱を避けるため、pMDIは統一して振ることを指導します。



2. 息吐き

- 無理をしない程度に「フーッ」と十分に息を吐き出します。
- ※吸入口には息を吹きかけないでください。

• 息吐きを行わないと、吸入が十分にできません。



3. 吸入

- 吸入器を歯でくわえ、ポンベを押すと同時に、2秒以上かけて吸入します。

• 吸い方が早すぎると肺への薬剤の到達度が減少します。

• 握力が弱くポンベを押せない方は、メーカーが作成している補助具を利用します。

• あごを少し上向きにすると、舌が自然に下がり、喉が開いた状態を作りやすくなります。

• 上手く同調できない場合はスパーサーを利用します。



4. 息止め

- 吸入口から口を離し、苦しくない程度 (5秒程) 息を止めます。

• 薬剤を気管支から肺まで効率よく吸収させる (肺内沈着率を上げる) ために、息止めが必要です。

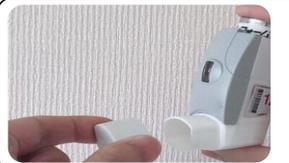
• 息止めが難しい患者でも、意識的で一瞬でも息をこらえることが重要です。



5. 息吐き

- ゆっくりと息を吐き出してください。
- ※もう1回吸入する場合は2~5の手順を繰り返します
- ※吸入口には息を吹きかけないでください。

• pMDIは鼻から息吐きを行うことを推奨します。



6. 後片付け

- 吸入後はキャップをします。

• キャップをする前に、吸入口をティッシュなどで拭くことで清潔に保てます。



7. うがい

- のどと口の中に薬剤が残らないように、口ゆすぎと、ガラガラのうがいを3回程度行ってください。

• 必要な分の薬は吸入した時点で浸透しているので、すぐにうがいをして問題ありません。

• うがいをきちんと行うことによって、吸入ステロイドによる、口腔内カンジダや嚙声などの副作用の発現を防止します。

Q&A:よくあるお問合せ

Q:うまく同調ができません

A:口での深呼吸を数回行いながら、吸い込むタイミングで噴霧を行うことで呼吸に噴霧タイミングを合わせます。
それでも上手くできない場合には、スパーサーの利用について検討します。

Q:空噴霧はなぜ必要なのでしょう

A:薬剤が吸入口から噴霧されるか、詰まりや不備がないか、アルミ缶を押す力を確認する意味で空噴霧をしてもらいます。

Q:空噴霧は毎回必要ですか

A:お薬の開封時に必要です。
また、一定期間使用しなかった場合、空噴霧が必要な薬剤(下記)があります

フルティフォーム	:3日
オルベスコ	:1週間
アトルベント	:3日

Q:スパーサーとは何でしょうか

A:呼吸同調がうまく出来ない場合に使用する、筒状の吸入補助具です。
(有料) 噴射速度によっては、同調のタイミングが難しい患者さんでも、効率的に吸入出来るようになります。

代表的な物として「エアロチャンパープラス」と「ボアテックス」があります。
乳児・小児でも使用できるマスクタイプのものと、マウスピースタイプのものがあります。